



令和3年度特別研修 「長期型人材育成研修」 報告書

◎ R3. 5～R3. 8
集合研修
各グループでの検討

◎ R3. 9
理事者プレゼンテー
ション

【研修概要】

◆受講者

採用2年目～5年目の各部からの推選者15名

◆研修期間

5月～8月の4か月間

◆研修内容

受講者を5名3グループに分け、集合研修（月1回の計4回）と各グループで検討を重ねる自立型研修

◆フィナーレ

9月に事業案を理事者プレゼンテーション

【目的】

苫小牧市が抱える課題を理解し、

- ① チームで考え、政策立案を体験する
- ② 他者との関わり方や多様性を学ぶ
- ③ 課題解決力を向上させる

<研修テーマ>

「苫小牧都市再生コンセプトプラン」に基づく
ウォークアブルなまちづくりについて

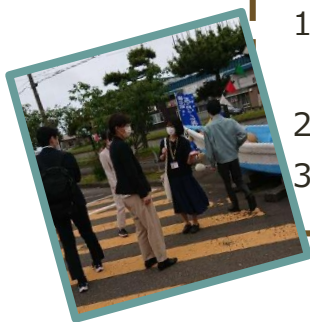
□ 第1回（令和3年5月20日）13：00～17：00

- 1 プロローグ
- 2 自立型人材育成について（講義）
（株）ジェニューインバリューコンサルティング
代表取締役 窪田 克彦 氏
- 3 研修テーマについて
総合政策部国際リゾート戦略室
- 4 政策立案について（講義）
- 5 自己紹介
- 6 グループ討議



□ 第2回（令和3年6月29日）13：00～17：00

- 1 苫小牧市の財政（講義）
財政部財政課
- 2 プレゼンテーションについて
- 3 まち歩き／グループワーク



□ 第3回（令和3年7月20日）13：00～17：00

- 1 中間プレゼンテーション
- 2 グループワーク



□ 第4回（令和3年8月20日）13：00～17：00

- 1 プレゼンテーション視聴
- 2 研修の振り返り
- 3 グループワーク



□ 理事者プレゼンテーション

（令和3年9月22日）13：00～15：00

- 1 プレゼンテーション（各グループ15分+質疑応答）
- 2 審査
- 3 講評



NO WALKABLE NO LIFE

(グループ検討 計26回)

つながるコンテナターミナル ～ つなコン ～

1. 現状・課題分析

- ・中心市街地において、商店街店舗数が減少し、駐車場や空き地が増加している。
- ・空き店舗の活用や駅前周辺の再整備、魅力的な商品を扱う店舗を市民は望んでいる。



<課題>

- ハード：空き地・空き店舗が活用されていない
- ソフト：駅前に魅力的な商品を扱う店舗が少ない

2. 仮説・事例検討

【ハード】

低価格で工期が短く移動可能な
コンテナハウスの活用



【ソフト】

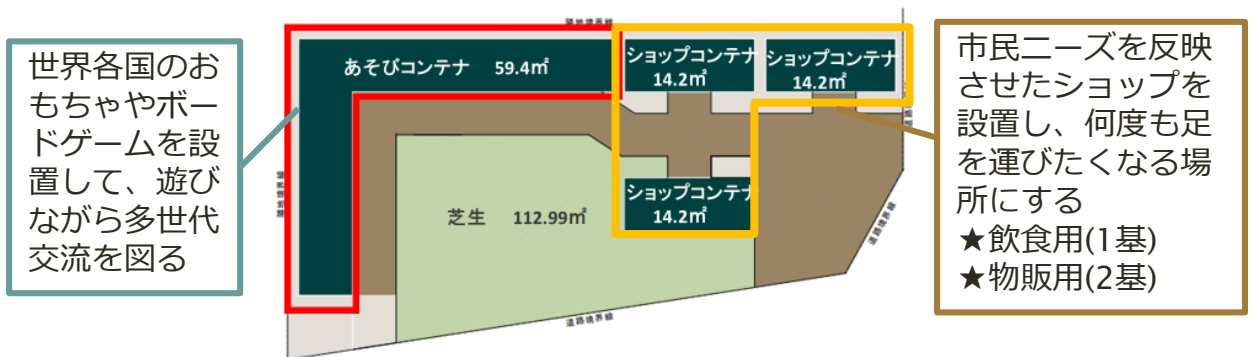
市民ニーズを反映させるための
LINE公式アカウントの活用



まちの魅力が高まり、交流人口が増加

3. 事業提案

予算要求～事業開始を3年計画で行い、まちの玄関口として、人と人がつながるコンテナターミナルを開港する



ウォークアブル推進室

(グループ検討 計22回)

シンボルストリートの歩行者道路化に向けた社会実験

1. 現状

- ・まちなか歩行者数が減少し、空き店舗やコインパーキングが目立っている。
- ・若者にとっては、賑わっていた駅前を知らず、イメージが湧かない。



誇れるまちなかへ

シンボルストリートの歩行者道路化

2. 課題

シンボルストリートを歩行者道路化するには、実現可能性と合意形成が必要



賑わっているビジョンを市民や事業者と共有するため

社会実験の実施

3. 事業提案

シンボルストリートを3エリアに分け、季節に応じて年4回の社会実験を行う

メインテーマ「食」



サブテーマ「音楽」「アート」

《食×音楽》

《食×アート》

春

(5月3日～5月7日)

- ・ストリートピアノ
→誰でも演奏できる
- ・音楽ライブ
→昼はポップ、夜はジャズ

冬

(1月6日～1月8日)

- ・アイスキャンドル & 氷像
→とまイルスクエアと同時期に灯りでにぎわいを創出

夏

(8月11日～8月15日)

- ・ストリートピアノ
→誰でも演奏できる
- ・音楽ライブ
→昼はポップ、夜はジャズ

秋

(10月7日～10月9日)

- ・まちなか美術展
→作品の路上展示やアート体験



その後、全エリア数か月間の社会実験の実施

たのCとまこまい

(グループ検討 計20回)

ぷらっとみなと市場でテイクアウト & 公園でピクニック

1. 現状

- ・コロナ禍で子どもたちが市外に遊びに行く機会が減っている。
- ・苫小牧市内では遊ぶ場所が少ない。

ターゲット層	キーワード
苫小牧市民	常設
親子連れ	既存
(子) 3~9歳	アウトドア

“既存ストック”を有効活用し、ウォーターフロントエリアを親子で楽しめる憩いのスペースに

2. 現状分析

強み	弱み
<ul style="list-style-type: none">・様々な料理を楽しめるぷらっとみなと市場・のどかな公園が周辺に点在・屋外で子供を連れて遊べるスペース	<ul style="list-style-type: none">・食事をする施設が少ない・街の中心から少し離れている
<ul style="list-style-type: none">・新しい行動様式・ぷらっとみなと市場の注目度アップ・道央圏との交通アクセスの向上	<ul style="list-style-type: none">・新型コロナウイルス感染症の影響による外出控え
機会	脅威

【弱み】
公園で飲食物が買えない
✕
【機会】
屋外での食事の需要が増加

3. 事業提案

ぷらっとみなと市場でテイクアウトをして、公園で食事をすることで、ピクニックという文化を根付かせる

テイクアウトを行うメリット

- ①店内で食事をする必要がなく、お客さんの回転率アップに繋がる
→市場内での滞在時間を大幅に削減できる
- ②人手不足が解消できる
→店内での接客や洗い物が減る

★メニューの考案

500~600円で多種多様な手毬寿司(想定)メニューを総経マーケティング部に協力依頼。

★マップの作成

周辺の公園の位置やトイレ、駐車場の有無などの情報を掲載し、テイクアウト時に一緒に配布して、ピクニックへつなげる。

◆イベントの実施

新メニューをお披露目し、テイクアウト利用者に敷物を貸し出す。さらに、賞品が当たるフォトコンテストを開催し、ピクニックの様子をSNSで拡散してもらってPRを行う。

10年先の**未来**のために、今、苫小牧に新しい文化を作る

市長講評

4か月間という限られた期間、回数の中で、3グループともよくまとめられた素晴らしい内容だと感心しています。プレゼンテーションのまとめ方についても、随分考えられていました。

15年前から、東西バランスの問題と中心市街地の問題については、一番大きな近未来に向けた課題として位置付けてきました。そうした中で近未来に向けた発想や考え方をできるだけ早く、市役所内部に浸透させたいと考えていましたが、今回の取り組み、みんなの提案は非常に良かったと思っています。

単体での事業化・3つの案をミックスした取り組み・それぞれのパーツを取ったの取り組みなど、実現に向けた検討をさせてもらいたいと思います。そうすることが、みんながそれぞれ苦労した提案に報いることになるので、担当部で検討していただきたい。

つなコン、シンボルストリート、ウォーターフロント、それぞれコンセプトの柱がありました。いずれも、これからの苦小牧のまちづくり戦略において、重要な位置付けになっています。3グループが打ち合わせをしてテーマ設定したと思ってしまいうくらい、的確に捉えていました。それが本当に凄いと思います。

これからも自分の部署に関係なく、いろいろな課題に対して積極的に提案することを期待しています。

研修を終えて

～受講者・所属長の声～

<受講者の声>

- ・ 普段関わる機会が少ない職場の方たちとのつながりができ、他業務への理解も深まった。
- ・ 自分たちで一から政策立案することで達成感があった。
- ・ 通常業務との調整が大変だったため、部署内の理解が不可欠と感じた。
- ・ 理事者の前でプレゼンができたのはとても良い経験になった。
- ・ 自ら調べて検証し、自分の考えを説明する大変さを今まで以上に感じた。
- ・ 相手の意見を尊重することと、自分の意見を伝えることを両立する難しさを感じた。

<所属長の声>

- ・ やりがいを持って取り組んでいることを感じていた。
- ・ 提案内容が実現されるのであれば、若手職員の今後のやる気に繋がると思う。
- ・ 他部署職員との触れ合いの中で自分に不足しているものを理解したほか、新たな業務への意欲が増したと感じられる。
- ・ 全てが研修の成果とは思えないが、報告や相談などのコミュニケーションがより積極的になったと感じる。
- ・ グループ検討は本人たちの負担度合いも今後の参考としてほしい。
- ・ 想像力や探求心、プレゼン力を身に付けるいい機会と思うので、継続して行ってほしい。

令和3年度特別研修
「長期型人材育成研修」報告書
令和3年10月
苫小牧市

【 発 行 】

苫小牧市総務部行政監理室

TEL 0144-32-6182 (直通)

FAX 0144-32-2198

E-mail g-kanri@city.tomakomai.hokkaido.jp